

文

昭和八年八月

陸境稅關關係條約集

經濟調查會 第五部



滿洲帝國政府

陸境稅關關係條約集

- 一、前 言 (實機第二六七號康德元年九月五日受附)
- 二、旅券、稅關手續及通シ切符ニ關スル國際會議ノ決議
千九百二十年十月二十一日採擇
- 三、獨逸國及波蘭國ノ稅關及旅券事務所ヲ有スル國境鐵道停車場竝特別直通及鐵道通過運送關係官吏ノ權利及義務ニ關スル獨逸國及波蘭國ノ條約
千九百二十二年五月十五日ジユネーブニ於テ署名
- 四、ザラ及其ノ隣接領域間ノ稅關制度及國境運送ニ關スル伊太利王國及セルブ・クロアイト・スロヴェーナ王國間ノ條約
千九百二十二年十月二十三日羅馬ニ於テ署名
- 五、密輸防止及其ノ他ノ事項ニ關スル亞米利加合衆國及墨西哥間ノ條約

千九百二十五年十二月二十三日華盛頓ニ於テ署名
六、フューメ港經由洪牙利國運送發送ニ關スル條約（拔萃）

千九百二十七年七月二十五日羅馬ニ於テ署名

フューメ港ニ於ケル洪牙利國稅關部設置ニ關スル伊太利國及洪牙利國間ノ議定書

千九百二十七年七月二十五日羅馬ニ於テ署名

一、前言

陸接國境ヲ通過スル貨物ニ對スル關稅ノ徵收ハ二ノ矛盾シタ事實ニ衝突スル、即チ關稅ノ確實ナル徵收ハ交通ノ迅速ヲ阻害スル、此ノ爲ニ陸接國境ヲ通過スル鐵道輸送ニ關シテハ孰レカ一方ノ國ノ停車場ニ他ノ一方ノ國ノ稅關ノ進出ヲ許可シ、稅關共同檢査カ施行サレル、安東停車場ニ於ケル新義州稅關ノ出張執務ハ之カ好事例テアル、更ニ進ンテ外國港ヲ經由陸接國境ヲ通過シテ輸出入サレル貨物ニ對スル關稅徵收及右貨物ノ輸送ヲ便ナラシムル爲ニ外國港ニ他國稅關ノ進出執務カ行ハレルコトモアル、大連港ニ於ケル滿洲國稅關ノ執務ハ之カ好事例テアリ、近ク北鮮ノ雄基、清津、羅津三港ニ進出ヲ新聞ヲ以テ傳ヘラレテ居ル滿洲國稅關ノ執務モ又然リテアル
但シ右ノ如キ場合ニ於テ外國領域ニ於ケル他國官憲ノ職務執行ハ困難ナル法律問題ヲ惹起スルカラ之ニ關シテハ條約ニヨリ明確ナル規定ヲ以テ其ノ職務權限ヲ定メナケレハナラヌ、但シ國內ニ於ケル外國官憲

ノ職務執行ヲ其ノ本國ニ於ケルカ如クニ許容スルコトハ主權問題ニ關
聯シテ妥當テナイ、然シ國內ニ進出スル外國稅關吏ノ職務權限ヲ極端
ニ縮少スルトキハソノ進出職務ノ意味ヲ充分ニ發揮シ得ナイカラ、自
國主權侵害ノ惧レアル事項ニ關シテハ之ヲ容認セサルト共ニ、外國官
憲ノ進出職務ヲ承認スル國ハ自國官憲ヲシテ右ニ關シテ援助セシムル
ノ立前ヲトツテ居ル、又關稅徵收ノ確保ノ爲ニハ隣接國境相互ノ密輸
防止ノ援助カ必要テアル、コノ爲ニハ相手國ヨリ自國ヘノ密輸入ヲ防
止スルト共ニ自國ヨリ相手國ヘノ密輸出ノ防止モ爲サネハナラヌ
更ニ又關稅ハ國境ヲ越エテ出入スル貨物ニ對スル租稅テハアルカ國境
隣接地界ノ住民ノ生活品ニマテ之ヲ及ホスノハ妥當ナラサル嫌カアル
國境隣接地帶住民ノ生活ハ國境ニ跨ツテ行ハレ、ソノ生活必需品ノ購
入販賣ハ國境ヲ越エテ行ハレルコトカ多イカラテアル、國境隣接地帶
住民ニ對シテハソノ生活必需品ノ購入ニ對シテ國稅免除ノ必要カアリ
歐洲陸境國テハ條約ヲ以テ國境隣接地帶住民ノ關稅免除ヲ定メテ居ル

國モ少クナイ
本集ハ右所述諸事項ニ關聯シテ歐米ノ事例ノ一端ヲ窺フ爲ニ編輯シタ
モノテアル
旅券、稅關手續及通シ切符ニ關スル國際會議ノ決議（稅關手續關係ノ
モノ丈拔萃）ハ外務省條約集第三輯第二十二卷ニ依ツタ、其ノ他條約
議定書ハ國際聯盟條約集ヨリ譯出シタ

二、旅券、税關手續及通シ切符ニ關スル國際會議ノ決議（拔萃）

千九百二十年十月二十一日採擇

旅券、税關手續及通シ切符ニ關スル國際會議ノ決議

（千九百二十年十月二十一日採擇）

二、税關手續

(14) 通過スル託送手荷物ノ検査ノ廢止 一國ノ領域ヲ通過スル託送手荷物ハ該國ニ於テ一切ノ税關検査ヲ免除セラレヘシ之カ爲右手荷物ハ例ヘハ税關官憲ニ依リ別々ニ封印セラレ又ハ通過中ニアラサル手荷物若ハ貨物ヨリ隔離セラレ且税關官憲ニ依リ同シク封印セラレタル特別ノ貨車及仕切室ニテ運搬セラレヘシ

(15) 金錢及有價證券ヲ有スル通過中ノ旅客 金錢及有價證券ノ輸出ヲ禁スル法令ノ存在スル國ニ入ル通過旅客ハ其ノ所持スル右金錢及有價證券ノ額ヲ表示スル證明書ヲ要求スルコトヲ得ルモノトス、右旅客ハ該國ヲ去ルニ當リ前記證明書ヲ提出スルトキハ右ノ金錢及有價證券ヲ携帯スルノ權利ヲ有スヘシ、右特權ハ資本ノ輸出ヲ禁スル規則

ト同一ノ公表方法ニ依リ一般旅行者ニ知ラシメラルヘシ
(一) 税關手續

- (ト) 國際停車場 接境國ハ共同業務ノ組織ニ依リ入國及出國ノ共通税關検査ヲ確保スヘキ協定ヲ成ルヘク締結スヘキコト
- (チ) 國外ニ向フ託送手荷物ノ検査 國外ニ向フ託送手荷物ノ検査ハ重要ナル鐵道中心地點ニ於テ出發ニ先チ成ルヘク行ハルヘキコト
- (リ) 國內ニ來ル託送手荷物ノ検査 國內ニ來ル託送手荷物ノ検査ハ重要ナル鐵道中心地點ニ到着シタルトキ成ルヘク行ハルヘキコト
- (ヌ) 一般手荷物ノ検査 携帶手荷物及託送手荷物ヲ右以外ニ検査スルコトハ通廊列車内ニ於テ又ハ非貫通列車ニ付テハ國境停車場ニ在ル間ニ客車自體内ニ於テ成ルヘク行ハルヘキコト(右カ使用シ得ヘキ職員ノ數ヲ以テ實行シ得ヘキトキハ何時ニテモ)
- (ル) 手荷物ノ制限 税關手續ヲ簡單ナラシムル目的ヲ以テ政府ハ手荷物トシテ運送セラレ得ヘキ物品ノ重量及種類ノ制限ニ關スル規則カ嚴重ニ實行セララルル様注意スヘキコト

三、獨逸國及波蘭國ノ税關及旅券事務所ヲ有スル國
境鐵道停車場竝特別直通及鐵道通過運送關係官
吏ノ權利及義務ニ關スル獨逸國及波蘭國ノ條約

千九百二十二年五月十五日「ジュネーブ」ニ於テ署名

獨逸國及波蘭國ノ稅關及旅券事務所ヲ有スル國境鐵道停車場並特別直通及鐵道通過運送關係官吏ノ權利及義務ニ關スル獨逸國及波蘭國ノ條約

千九百二十二年五月十五日「ジュネーブ」ニ於テ署名

獨逸國及波蘭國ハ千九百二十二年五月十五日ノ上部「シレジア」ニ關スル獨逸波條約ニ關連シテ國境ニ於ケル運送ヲ能フ限リ容易ナラシメムコトヲ希望シタルニ因リ獨逸國及波蘭國ノ稅關及旅券事務所ヲ有スル國境鐵道停車場並特別直通及鐵道通過運送關係官吏ノ權利及義務ニ關スル條約ヲ締結スルコトニ同意シ且之カ爲左ノ如ク各其ノ全權委員ヲ任命セリ

獨逸國

前國務大臣

「オイゲン・シツフェル」

波蘭國

全權公使

「カシミール・オルゾウスキー」

因テ各全權委員ハ互ニ其ノ全權委任狀ヲ示シ之カ良好妥當ナルヲ認メタル後左ノ諸條ヲ協定セリ

一、進出事務所

第一條

兩締約國ハ獨逸國及波蘭國稅關及旅券事務所ヲ有スル國境鐵道停車場（國境停車場）（國境停車場及國境間ノ鐵道線路ヲ含ム）ニ對スル主權並他ノ一方ノ締約國ニ依リ設置セラレタル事務所地帶（進出事務所）ニ於ケル主權ハ右事務所所在地國ニ屬スルモ以下定ムル規定ヲ妨ケサルヘキコト又犯則處罰ニ關シテハ特別ノ規定ニヨリ事務所所在地國官吏ノミカ之ヲ處分ノ權能ヲ有シ他方ノ國ノ官吏ハ私人ト同様ノ程度ニ於テ之ニ干與シ得ルニ過キササルモ之ト異ル規定アルトキハ之ニ從フヘキコトヲ約ス

第二條

一方ノ官憲ハ他ノ一方ノ領域内ノ其ノ專用ヲ承認セラレタル場所及

建物ニ於テノミ秩序ヲ維持シ且規則ニ違反シタル犯人ヲ追放スル權利ヲ有ス其ノ他ノ一切ノ場所及建物ニ於テハ右ノ權利ハ國境停車場所在地國官憲ニノミ屬スルモノトス

第三條

國境停車場ヲ經由スル貨物ノ輸出及輸入並旅客ノ輸送ハ該停車場ノ所在地國ノ關稅規則ニ從フヘク又輸出ノ場合ニ於テハ他ノ一方ノ國ノ官憲ノ稅關檢査終了ノ時ニ至ル迄右他ノ一方ノ國ノ關稅規則ニ從フヘシ尤モ兩國ノ關稅規則ハ之ヲ定メタル國ノ稅關官憲ノミ之ヲ適用スルモノトス地方ノ事情カ許ストキハ輸出ノ場合及輸入ノ場合共ニ第二ノ國ノ稅關檢査ハ第一ノ國ノ檢査ノ終了スルト同時ニ之ヲ開始スルコトヲ得

國境停車場ノ所在地國ハ他ノ一方ノ國ノ領域ヨリ其ノ領域ニ到着シ且輸出國間ノ關稅規則ニ從ハサルニ至ル以前ニ積戻サルル貨物ニ對シ輸出稅及輸入稅ヲ課スルコトヲ得ス

第四條

貨物カ第三條ニ依リ兩締約國ノ關稅規則ニ從ヒ兩國稅關官憲ニ關稅ヲ納付スル義務アルトキハ右貨物カソノ領域ヨリ輸出セララルル國ノ稅關官憲之カ優先請求權ヲ有ス要求アルトキハ他ノ一方ノ國ノ稅關官憲ハ該貨物カ未タ優先請求權ヲ有スル國ノ領域内ニ在ル間ハ右貨物ヲ引渡スヘシ

一方ノ締約國ノ稅關官憲カ他ノ一方ノ締約國ノ管理ノ下ニ在ル貨物ヲ檢査スルコト必要ナリト認ムルトキハ右ノ貨物ハ之カ爲其ノ處分ノ下ニ之ヲ置クヘシ但シ右一方ノ締約國ノ關稅規則ヲ之ニ適用スルモノトス

第五條

本條約第三條及第四條ノ規定ニ依リ各締約國ノ稅關官憲ハ他ノ一方ノ國ノ領域内ニ於テ發見セラレタル各自國ノ關稅規則違反ヲ調査シ關係貨物ヲ沒收シ各自國ノ刑法ニ從ヒ右ノ違反ヲ審判シ且罰金(其ノ處

アルト既ニ課セラレタルトヲ問ハス) 及一切ノ種類ノ課金ニ充當スルノ目的ヲ以テ労働器具ヲ除キ違反者ニ屬スル貨物ヲ沒收シ又ハ擔保トシテ押收スルノ權利ヲ有スヘシ
一方ノ締約國ノ稅關官憲ハ該官憲カ他ノ一方ノ締約國ノ領域ニ於テ前項ニ依リ沒收シ又ハ擔保トシテ押收シタル貨物ヲ自國ニ送致シ又ハ他ノ一方ノ締約國ノ權限アル官吏ノ仲介ヲ經テ之ヲ公競賣ニ附スルコトヲ得

他ノ一方ノ締約國ノ領域内ニ於テ執務スル一方ノ締約國ノ稅關官吏ハ本協約第五條ニ依リ附與セララル權限行使ノ爲其ノ公務ヲ執行スヘキ一切ノ場所ニ於テ自國ノ法令ニ從ヒ人ヲ逮捕シ且拘禁スルコトヲ得他ノ一方ノ締約國ノ國民ハ之ヲ逮捕スルコトヲ得ス犯罪事實ノ訊問ノ爲違反者ノ出頭ヲ強要スルコトヲ得右ノ訊問ニハ他ノ一方ノ締約國ノ官吏臨席スヘキモノトス他ノ一方ノ締約國ノ國民ニ對スル搜查ノ爲ニスル身體ノ強制ハ該國官吏ノ面前ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

本條約第四條第一項所定ノ課金徵收ニ關スル優先權ハ逮捕ニ付テモ亦之ヲ適用スルモノトス

前記ノ規定ニ從ヒ他ノ一方ノ締約國ノ領域ニ於テ一方ノ締約國官吏ニ依リ逮捕セラレタルモノハ必要ナルトキハ他ノ一方ノ締約國官吏ノ連行ノ下ニ一方ノ締約國官吏之ヲ自國領域ニ送還スルコトヲ得

第七條

兩國稅關官憲カ兩國ノ稅關規則ニ從フヘキ貨物ヲ共同ニ管理スルトキハ第四條第一項ニ依リ課金徵收ニ關シ優先權ヲ有スル締約國ノ稅關官憲ノミ責任アル管理者トシテ故障アル場合ニハ其ノ責ニ任スヘキモノトス

第八條

本條約ニ於テ稅關規則ト稱スルハ輸入、輸出及運送ノ禁止及制限、間接稅及之ニ類似ノ課金ニ關スル規則、貨物運送統計ニ關スル規則並右諸規則ノ實施ノ爲定メララル一切ノ規定ヲ謂フ

前項ノ規則ノ實施ノ責ニ任スル官廳、官吏及雇員ハ稅關官廳及稅關吏ト同様ノ資格ヲ有スルモノトス

第九條

他ノ一方ノ締約國ノ領域内ニ在ル國境停車場ヲ經由シテ一方ノ締約國ノ領域ヨリ去ラムトスル旅行者有效ナル查證ヲ所持セザルトキハ右國境停車場ニ於テ執務スル右一方ノ締約國ノ官吏及雇員之ヲ送還スルコトヲ得右ノ旅行者ハ出發國ニ歸還セシメラルヘシ之ヲ拒絕スルトキハ之ヲ強制シテ送還スルコトヲ得

尤モ國境停車場所在地國ノ國民ノ送還ニ對シテハ強力ヲ使用スルコトヲ得ス但シ事實訊問ノ爲旅行者ノ出頭ヲ強要スルコトヲ得右ノ訊問ニハ他ノ一方ノ締約國ノ官吏臨席スヘキモノトス右訊問終了後ニ於テハ旅行者ニ進行ヲ許可スヘキモノトス

第十條

一方ノ締約國カ他ノ一方ノ締約國ノ領域内ノ停車場ニ於テ乘車券檢

査ヲ行フトキハ右檢査ノ責ニ任スル官吏及雇員ハ乘車券檢脱ト認メラルル者ヲ事實訊問ノ爲抑留ヲ強要スルコトヲ得右ノ者カ他ノ一方ノ締約國ノ國民ナル場合ニハ右ノ訊問ニハ該國官吏臨席スヘシ

第十一條

兩締約國ノ進出事務所ハ夫々其ノ執務地帯ニ各自國ノ紋章ヲ掲出スルコトヲ得

第十二條

各國ノ當該高級官廳ハ其ノ進出事務所ニ派遣セル官吏及雇員ノ氏名及職務ヲ相互ニ通告スヘク右事務所ノ責任官吏ヲ指示スヘシ

第十三條

國境停車場所在ノ締約國官吏ハ他ノ一方ノ締約國ノ官憲ニ割當テラレ又ハ其ノ職務執行ノ必要上右官憲ニ依リ遮斷セララルル構内ニ其ノ職務ノ執行ノ爲何時タリトモ立入ルコトヲ得但シ右官吏ハ外部ヨリ其ノ官吏タルコトヲ認メララルル者タルヘク且職務ノ爲右構内ニ在ルコトヲ

滿洲帝國政府

證明シ得ル者タルヘシ右官吏ハ他ノ一方ノ締約國ノ規則ニ依リ關稅ヲ課セラレヘキ貨物ヲ携帯スルコトヲ得ス

第十四條

一方ノ國ヨリ他ノ一方ノ國ノ領域内ノ事務所ニ送致セラルル公用貨物ハ其ノ送致セラルル國ニ於テ關稅其ノ他ノ課金ヲ免除セラルヘシ再輸出ノ場合亦同シ

第十五條

締約國ハ進出事務所發着ノ公文書及小包竝金錢其ノ他ノ有價品ヲ自國ノ郵便係員其ノ他ノ者ニ依リ無料ニテ且該國郵便官廳ノ介入ナクシテ送致スルコトヲ得

前項ノ送致物ハ發送ノ官憲ノ封印ヲ有スヘク且檢閲ヲ受ケサルヘシ

第十六條

國境停車場ニ於テ執務スル兩締約國ノ官吏ハ其ノ職務遂行ニ關シ就中法令違反ノ防止及發見ニ關シ相互ニ援助スヘシ

滿洲帝國政府

第十七條

一方ノ締約國ノ官憲ハ其ノ領域内ニ於テ執務スル他ノ一方ノ締約國ノ官憲及官吏ニ一切ノ必要ナル保護ヲ供與スヘク且右ノ官憲及官吏ノ要求ヲ接受シタルトキハ自國ノ官憲及官吏ヨリ之ヲ接受シタルトキト同様ニ行動スヘシ

第十八條

締約國ノ權限アル官憲ヨリ本協約第一條ニ掲クル領域内ニ於テ行ハレタル該國ノ國稅、旅券及鐵道ニ關スル規則違反行爲ニ關シ直接ノ要求アルトキハ他ノ一方ノ締約國ノ權限アル官憲ハ

(イ) 證人及専門家ヲ訊問スヘシ

(ロ) 公ノ檢査ヲ行フヘク且發見物ヲ記録スヘシ

(ハ) 召喚及判決ヲ促進スヘシ

前項ニ依リ生スル實費ハ要求ヲ爲ス官憲ヨリ要求ヲ受クル官憲之ヲ賠償スヘシ

第十九條
自國領域内ニ於テ税關監視及鐵道警察ヲ執行スルノ目的ヲ以テ各締約國ハ其ノ官吏ヲシテ他ノ一方ノ締約國ノ領域ノ第一ノ停車場ニ至ル迄國境ヲ越エテ列車ニテ往復セシムルコトヲ得

第二十條

兩締約國ハ國境停車場ニ於ケル相互ノ税關官吏ニ輸出及輸入ノ税關検査ニ必要ナル一切ノ權能ヲ與フヘシ兩締約國ハ兩國税關官憲ノ検査ノ權能カ成ルヘク一致スル様特ニ考慮スヘシ兩締約國ノ貨物ノ検査ハ成ルヘク連續シテ之ヲ行フヘク且能フ限リ迅速ニ之ヲ完了スヘシ旅行者及其ノ携帶品ハ列車ノ到着及出發ノ際遲滯ナク之ヲ検査スルコトヲ要ス

第二十一條

本協約第五條第二項、第六條、第九條及第十條ニ掲クル公ノ援助ハ要求アルトキハ之ヲ與フヘシ

第二十二條

進出事務所ニ於テ執務スル派遣國ノ國民タル各締約國ノ官吏及雇員ハ其ノ國籍ヲ保有スヘシ任地國領域内ニ右ノ官吏及雇員ト同居スル其ノ親族及僕婢ハ居住、滞在又ハ出生ニヨリ任地國ノ國籍ヲ取得スルコトナシ

第二十三條

千九百二十二年五月十五日ノ上部「シレジア」ニ關スル獨逸波蘭條約ノ國籍ニ關スル條章ニ從ヒ主權ノ移轉ト共ニ波蘭國臣民トナルヘキ獨逸國ノ國籍ヲ有スル官吏及雇員ハ其ノ自由意志ヲ以テ獨逸國又ハ引續キ其ノ構成國ノ任務ニ就キ且主權ノ移轉ニ際シテ獨逸國ノ進出事務所ニ勤務スルトキハ其ノ國籍ヲ保有スヘシ右ノ者ハ獨逸國籍ヲ選擇セル者ト事實上同様ニ之ヲ看做ス
國籍選擇ノ爲定メラルル期間ハ右ノ者ニ就テハ進出事務所ニ於ケル任務ノ終了ト共ニ開始セララルヘク且遲クトモ主權ノ移轉後十五年ノ滿了

滿洲帝國政府

ト共ニ終了スヘシ右官吏及雇員ノ妻及未成年ノ子ハ右ノ官吏及雇員ト
同様タルヘシ

第二十四條

投票地帯ノ獨逸國ノ部分ニ居住スルカ爲主權移轉ノ際千九百二十二
年五月十五日ノ上部「シレジア」ニ關スル獨逸波蘭協約第二編ニ從ヒ
波蘭國ノ國籍ヲ選擇スル權利ヲ有スル獨逸國ノ國籍ヲ有スル波蘭人ハ
官吏又ハ雇員トシテ波蘭國ノ任務ニ就キ且主權ノ移轉ニ際シテ波蘭國
ノ進出事務所ニ任命セララルトキハ波蘭國ノ國籍ヲ取得シ且獨逸國ノ
國籍ヲ喪失スヘシ右ノ者波蘭國國籍ヲ選擇セルトキハ事實上同様ニ看
做ス

本條約第二十三條第二項ハ本條ニ之ヲ準用ス

第二十五條

進出事務所ノ官吏及雇員ハ外國領域内居住ノ期間ハ右外國ノ裁判權
及警察權ニ從フヘシ尤モ其ノ職務ノ執行ニ就テハ右ノ官吏及雇員ハ專

滿洲帝國政府

ラ其ノ派遣國法令及官憲ニノミ從フヘキモノトス右官吏及雇員其ノ職
務執行ノ爲犯シタル處罰シ得ヘキ行爲ノ故ヲ以テ要求アルトキハ其ノ
派遣國ニ之ヲ引渡スモノトス

第二十六條

外國領域内ノ國境鐵道停車場ニ勤務スル官吏及雇員ハ執務中制服又
ハ外部ヨリ識別シ得ル徽章ヲ着用スヘシ執務ノ時以外ニ於テハ右ノ官
吏及雇員ハ其ノ勤務スル場所又ハ兩國行政官廳ニ依リ協定セララル地
帶内及勤務ノ場所又ハ協定地帯ト派遣國トノ間ノ途上ニ於テノミ制服
ヲ着用スルコトヲ得
武器ノ携帯ハ執務時間中ニ限ル銃器ノ携帯ハ夜間貨物又ハ現金ノ護衛
ノ時ニ限ル
進出事務所ノ上級官吏ハ該事務所ヲ公ニ訪問スルトキハ制服ヲ着用シ
且武器ヲ携帯スルコトヲ得
武器ノ使用ハ正當防衛ノ場合ニ限り之ヲ許ス

第二十七條

侮辱又ハ傷害事件ニ關シ原告ノ告訴ノ外ニ公訴ヲ爲シ得ルトキハ兩締約國ハ自國官吏ノ爲ニスルト同様ニ其ノ領域内ニ勤務スル他ノ一方ノ締約國ノ官吏ノ爲ニ公訴スヘシ

第二十八條

本協定第二十二條ニ掲クル者ハ其ノ住所ニ在ル任地國ノ公ノ施設即チ一般ノ法ノ保護ノ施設、寺院及學校竝住宅及經濟的扶助ニ關スル施設ノ利益享有ニ付右任地國ノ臣民ヨリ不良ナラサル待遇ヲ受クヘシ

第二十九條

兩締約國ハ進出事務所ニ勤務スル官吏及雇員ニ對シ適當ナル宿舍ノ調達ニ援助ヲ與ヘ且右ノ者既ニ其ノ任地國ニ於テ住宅ヲ有スルトキハ他ノ適當ナル住宅ヲ取得スル迄一先ツ該住宅ニ居住セシメ得ルコトヲ約ス

第三十條

本協定第二十二條ニ掲クル者ハ任地國領域内ニ居留中左記ヲ享有ス

一、凡ユル種類ノ公法上ノ身體的負擔物的負擔ノ免除

二、任地國ニ居住又ハ居所ヲ有セサル場合ニ享有スルト同様ナル任地國ニ於テ賦課セラルル一切ノ公ノ租税ノ免除

三、勤務地ト派遣國ノ國境トノ間ノ最短線路ノ將來ノ協定ニ依ル鐵道無賃乗車

四、其ノ派遣國ヨリ輸入スル公私ノ使用及消費ヲ目的トスル一切ノ貨物ニ對スル輸入税ノ免除竝其ノ使用後派遣國ニ返送スル前記ノ貨物ノ輸出税ノ免除兩締約國ノ輸入及輸出ノ禁止ハ前記ノ貨物ニ對シテハ同様ニ之ヲ適用セス右特權ヲ要求スル貨物ノ處置ハ直屬上官ノ證明書ヲ提示シテ自己及其ノ世帯ニ屬スル者ノ右ノ免除ヲ請求スル官吏又ハ雇員ノ勤務地ノ税關ニ於テ之ヲ行フヘシ兩締約國ハ必要アルトキハ相互ノ協定ニ依リ管理方法ヲ定ムルノ權利ヲ留保ス

第三十一條

進出事務所ニ於テ勤務スル官吏及雇員ハ其ノ上級官廳ヨリ特ニ協定セラレタル様式ヲ有スル身分證明徽章ヲ受クヘク右ノ徽章ハ右ノ官吏及雇員ヲシテ其ノ派遣國ニ自由ニ交通スルコトヲ得シムルモノトス前項ノ規定ハ進出事務所ノ監督ニ當ル官吏ニモ之ヲ準用ス

第三十二條

本條約第二十二條第一項ニ掲クル者ノ家族及其ノ雇傭スル僕婢ニシテ之ト同居スル者ハ必要アルトキハ千九百二十二年五月十五日ノ上部「シレジア」ニ關スル獨逸波蘭協定第二百七十條ニ從ヒ乘車券ヲ受クヘク該乘車券ノ效力ハ本協約第二十六條第一項ニ掲クル地帯及派遣國トノ直接交通ノ爲ノ通過ニ之ヲ制限スルコトヲ得派遣國ノ乘車券發給官憲ハ他ノ一方ノ締約國ノ副署官署ノ在ル場所ニ駐在スルモノタルヘク右ノ副署官署ハ副署ヲ拒ムコトヲ得ス

二、鐵道通過運送

第三十三條

鐵道通過運送ニ從事スル列車ノ治安維持ニ必要ナル凡テノ措置ノ達行ハ千九百二十二年五月十五日ノ上部「シレジア」ニ關スル獨逸波蘭協約第四百七十條第一項及第四百八十條ノ規定ニ拘ラス直通運送ノ權利アル國ニ屬スル列車勤務ノ官吏及雇員ノ職務タルヘシ

第三十四條

直通運送ノ權利アル國ノ列車ニ勤務ヲ命セラレタル官吏ハ出發國ノ領域内ノ國境直前ノ停車場ト國境トノ間車中ニ於テ其ノ逮捕シタル者ヲ通過國ノ全領域中拘禁スルコトヲ得ヘク且右ノ領域ヲ通過シテ直通運送ノ權利アル國ノ領域ニ右ノ者ヲ送還スルコトヲ得

第三十五條

直通列車ニ勤務スル官吏及雇員ハ特ニ協定セラレタル様式ヲ有スル證明票ヲ受クヘク右證明票ハ其ノ勤務中旅券、許可證其ノ他所定ノ身分證明タルノ效力ヲ有スヘシ

第三十一條

進出事務所ニ於テ勤務スル官吏及雇員ハ其ノ上級官廳ヨリ特ニ協定セラレタル様式ヲ有スル身分證明徽章ヲ受クヘク右ノ徽章ハ右ノ官吏及雇員ヲシテ其ノ派遣國ニ自由ニ交通スルコトヲ得シムルモノトス前項ノ規定ハ進出事務所ノ監督ニ當ル官吏ニモ之ヲ準用ス

第三十二條

本條約第二十二條第一項ニ掲クル者ノ家族及其ノ雇傭スル僕婢ニシテ之ト同居スル者ハ必要アルトキハ千九百二十二年五月十五日ノ上部「シレジア」ニ關スル獨逸波蘭協定第二百七十條ニ從ヒ乘車券ヲ受クヘク該乘車券ノ效力ハ本協約第二十六條第一項ニ掲クル地帯及派遣國トノ直接交通ノ爲ノ通過ニ之ヲ制限スルコトヲ得派遣國ノ乘車券發給官憲ハ他ノ一方ノ締約國ノ副署官署ノ在ル場所ニ駐在スルモノタルヘク右ノ副署官署ハ副署ヲ拒ムコトヲ得ス

二、鐵道通過運送

第三十三條

鐵道通過運送ニ從事スル列車ノ治安維持ニ必要ナル凡テノ措置ノ達行ハ千九百二十二年五月十五日ノ上部「シレジア」ニ關スル獨逸波蘭協約第四百七十條第一項及第四百八十條ノ規定ニ拘ラス直通運送ノ權利アル國ニ屬スル列車勤務ノ官吏及雇員ノ職務タルヘシ

第三十四條

直通運送ノ權利アル國ノ列車ニ勤務ヲ命セラレタル官吏ハ出發國ノ領域内ノ國境直前ノ停車場ト國境トノ間車中ニ於テ其ノ逮捕シタル者ヲ通過國ノ全領域中拘禁スルコトヲ得ヘク且右ノ領域ヲ通過シテ直通運送ノ權利アル國ノ領域ニ右ノ者ヲ送還スルコトヲ得

第三十五條

直通列車ニ勤務スル官吏及雇員ハ特ニ協定セラレタル様式ヲ有スル證明票ヲ受クヘク右證明票ハ其ノ勤務中旅券、許可證其ノ他所定ノ身分證明タルノ效力ヲ有スヘシ

第三十六條

本條約第十六條、第十七條、第二十五條、第二十六條及第二十七條ハ特別直通運送ニ勤務スル官吏及雇員ニ之ヲ適用ス但シ右ノ者ハ銃器ヲ携帶スルコトヲ得ス（本條約第二十六條第二項）

三、越境鐵道運送

第三十七條

一方ノ締約國ノ鐵道官吏國境ヲ越エテ他ノ一方ノ締約國領域内ニ至ル越境列車ニ勤務スル場合ニ於テハ本條約第三十三條ニ掲クル權限ヲ有ス

第三十八條

本條約第十六條、第十七條、第十九條、第二十五條、第二十六條、第二十七條及第三十五條ノ規定ハ越境鐵道運送ニ從事スル官吏及雇員ニ對シ均シク之ヲ適用ス但シ右ノ者ハ銃器ヲ携帶スルコトヲ得ス（本條約第二十六條第二項）

四、結末規定

第三十九條

本追加條約ノ一切ノ規定ハ上部「シレジア」ノ人民一般投票地域ノ二箇所間ノ運送ニ對シテノミ之ヲ適用ス

第四十條

本條約ハ批准セラルヘク且其ノ批准書ハ千九百二十二年ノ上部「シレジア」ニ關スル獨逸波蘭協約ト同時ニ交換セラルヘシ

本條約ハ右條約ト同日ヨリ其ノ效力ヲ生スヘシ

右證據トシテ各全權委員ハ本條約ニ署名調印セリ

千九百二十二年五月十五日「ジュネーブ」ニ於テ本書二通ヲ作ル

カシミール・オルソウスキー（印）

オイゲン・シツフェル（印）

滿洲帝國政府

四、「ザラ」及其ノ隣接領域間ノ税關制度及國境運送ニ關スル
伊太利王國及「セルブ・クロアイト・スロヴエーヌ」王國
間ノ條約

千九百二十二年十月二十三日羅馬ニ於テ署名

「ザラ」及其ノ隣接領域間ノ税關制度及國境運送ニ關スル
伊太利王國及「セルブ・クロアイト・スロヴエーヌ」王國
間ノ條約

千九百二十二年十月二十三日羅馬ニ於テ署名

伊太利國王陛下及「セルブ・クロアイト・スロヴエーヌ」國王陛下ハ
「ザラ」領域ニ關シ本日締結セラレタル條約ニ掲クル規定ノ實施ニ向
ハセムコトヲ欲シ之カ爲ニ條約ヲ締結スルコトニ決定シ左ノ如ク其ノ
全權委員ヲ任命セリ
伊太利國王陛下

參議員議員外務大臣「エム・カルロ・シアンツエル」
「セルブ・クロアイト・スロヴエーヌ」國王陛下

特命全權公使「エム・ヴォアスラウ・アントニエウイツチ」

因テ各全權委員ハ互ニ其ノ全權委任狀ヲ示シ之カ良好妥當ナルヲ認メ
タル後左ノ各條ヲ規定セリ

滿洲帝國政府

關稅規則

第一條

「ザラ」領域ハ伊太利王國ノ主權ノ下ニ在リト雖、該王國ノ關稅區域
内ニ包含セラレサルモノトス

伊太利國ハ「ザラ」領域ニ仕向ケラルル商品ノ輸出ニ對シ特別關稅ヲ
課シ、又ハ右輸出ニ關シ禁止若ハ制限ヲ加ヘサルコトヲ約ス

第二條

「セルブ・クロアイト・スロヴェニア」王國ハ該國ヨリ「ザラ」領域
ニ至ル凡ユル種類ノ食料品ノ輸出ヲ害スル如何ナル例外的措置ヲモ執
ラサルコトヲ約ス

如何ナル場合ニ於テモ該王國ヨリノ輸出ニ關シ一般ニ課セラルルコト
アルヘキ輸出ニ對スル關稅其ノ他ノ租稅及禁止其ノ他ノ制限ハ本條約
ノ附表（附屬書甲號）ニ記載セララルル生産物ノ「ザラ」領域ヘノ輸入
ニ之ヲ適用セサルヘシ但シ右生産物ハ其ノ境界ヲ本條約ノ附圖（附屬

滿洲帝國政府

書乙號）ニ示ス右王國領域ノ地帶ヨリ到來シ且該地帶ニ產出スルモノ
トス

第三條

「ザラ」領域ヨリ到來シ且該領域ニ產出シ又第二條ニ掲クル「セルブ
クロアイト・スロヴェニア」王國ノ國境地帶ニ於ケル消費ノ爲ニ仕向
ケラルル以下掲クル生産物ハ該地帶ニ入ルニ際シ凡テノ關稅又ハ租稅
ヲ免除セラルヘシ

干草、麥蘖、秣用青草、植木、野菜、丸太薪、木炭、泥炭、木炭屑、
枯葉、乾性橄欖、油槽其ノ他ノ壓縮油種子及果實ノ副產物、洗濯用粉
末、肥料、酒糟、腐敗葡萄酒、屑物、粘土、「ザラ」領域ニ於テ製粉
スル爲ニ前記國境地帶ヨリ一時的ニ輸入セラルル穀物ノ製粉生産物（
此ノ場合ハ出來高ノ割合ヲ考慮ス）、十疋ヲ超エサル牛肉、十疋ヲ超
エサル麵麩及練粉、十疋ヲ超エサル牛酪及乾酪、人造氷、「ザラ」領
域ヨリ到來シ且該領域ニ產出スル附表（附屬書丙號）ニ掲クル生産物

ハ該表ノ各場合毎年ノ定量ニ達スル迄前記國境地帯ヘノ輸入ニ關シ前記ノ免除ヲ享有スヘク且其ノ定量ヲ超エサルトキハ「セルブ・クロア」ト・スロヴェニア」王國ニ於テ製造セララルル同様ノ生産物ニ課セララルコトナキ凡テノ制限輸入禁止又ハ内國稅ニ服セサルヘシ前記生産物ハ前記國境地帯住民ノ使用ノ爲ニ仕向ケラルルモ、郵便ニ依リ輸入セララルルトキハ其ノ量ノ如何ヲ問ハス之カ輸入ニ付關稅ヲ免除セサルヘシ以上ノ特權ニ關スル取締規則濫用ノ場合ニ執ルヘキ措置ハ兩締約國ノ權限アル行政廳間ノ協定ニ依リ之ヲ定ムヘシ

第四條

「ザラ」領域及其ノ「セルブ・クロア」ト・スロヴェニア」王國隣接地帯間ノ國境ノ必要アリト認メララルル地點ニ於テハ前記地帯ノ住民カ「ザラ」領域ニ在ル藥舖ニ到リ處方箋呈示ノ上購入スル該購入者ノ必要ニ相應スル少量ノ藥用ハ關稅及印紙稅ヲ免除シテ之カ輸入ヲ許スヘシ

シ右ノ條件ニ依ル輸入ニ關シテハ其ノ包紙ニ正確ナル處方書ヲ附シ、且其ノ販賣及使用カ其ノ消費ノ爲ニ仕向ケラルル領域ニ於テ自由ニ許可セララルル藥用品又ハ化學用製劑又ハ藥用製劑ノミニ關聯スル場合ニ於テハ提示ノ義務ハ之ヲ免除スルコトヲ得

第五條

「ザラ」ノ領域ニ居所若ハ農園及第二條所定ノ「セルブ・クロア」ト・スロヴェニア」王國ノ國境地帯ニ土地ニ關スル財產ヲ有シ、又ハ前記ノ地帯ニ居所若ハ農園及「ザラ」領域ニ土地ニ關スル財產ヲ有スル締約國ノ人民ハ收穫期ノ開始ヨリ十二月末日ニ至ル全期間其ノ財產ヨリ收穫シタル全生産物ヲ、輸入稅又ハ輸出稅及凡テノ租稅又ハ課金ヲ課セララルコトナク且輸入又ハ輸出ノ禁止ヲ受クルコトナクシテ前記「ザラ」領域及前記地帯間ノ國境線ヲ超エテ（關稅通路ニ非サル通路ニ依ルトキ亦然リ）、其ノ居所及農園ニ輸送スルノ權利ヲ有スヘシ尚本條第一項ニ記載スル地位ニ在ル者ハ農事作業又ハ建物修理ノ全期

間中農事作業ニ必要ナル動物、車輛並一切ノ器具及道具ヲ又前記ノ財產上ニ在ル建物ノ修理ニ必要ナル建築材料並勞動者並動物ノ扶養ニ必要ナル食料ヲ關稅、租稅及禁止ノ免除ニ關スル同様ノ條件ヲ以テ、前記ノ國境線ヲ超エテ、輸送スルノ權利ヲ有スヘシ

前項所定ノ規定ハ前記ノ者森林ニ於ケル作業又ハ森林ノ要求ニ依リ必要ナラシメラルル作業ヲ有スル場合ニ於テモ之ヲ適用スヘシ

前記一切ノ規定ハ「セルブ・クロアイト・スロヴェーヌ」王國ノ第二條所定ノ地帶内ニ土地ニ關スル財產又ハ土地ニ關スル權利ヲ有スル「ザラ」領域内ノ法人ノ代表者並「ザラ」領域内ニ土地ニ關スル財產又ハ土地ニ關スル權利ヲ有スル右地帶内ノ法人ノ代表者ニ對シテモ之ヲ適用スヘシ右ノ特權ニ關スル取締規則及濫用ノ場合ニ執ラルヘキ措置ハ兩締約國ノ權限アル行政廳間ノ協定ニ依リ之ヲ定ムヘシ

第六條

「ザラ」領域及「セルブ・クロアイト・スロヴェーヌ」王國間ノ國境

ニ依リ各自ノ居所及農園ヨリ分離セララルル土地ノ所有者及借地人ハ輸入稅又ハ輸出稅ニ服スルコトヲクシテ其ノ住宅及農園ヨリ前記土地ニ至ル迄放牧ノ爲其ノ家畜ヲ輸送スルコトヲ得ヘシ

放牧ヨリノ送還カ同一日ニ生スル場合ニ於テハ權限アル稅關吏ハ濫用ヲ防止スルニ充分ナル措置ニ依リ監督ヲ行フニ止マルヘシ、但シ該家畜ハ一時的輸入ニ關スル稅關規則ニ從ハサルモノトス

如何ナル場合ニ於テモ右ノ規則ハ兩締約國政府間ノ協定ニ依リ定メラルヘキ基準ニ從フニ非サレハ之ヲ採用スルコトヲ得ス

第七條

「セルブ・クロアイト・スロヴェーヌ」王國ノ領域内所在ノ地方ニ在ルモ「ザラ」領域ニ依リ相互ニ分離セララルル土地ノ所有者及借地人ハ第五條及第六條所定ノ條件及限界ヲ以テ何等關稅上ノ制限ヲ受クルコトヲク右領域ヲ超エテ其ノ生産物及家畜ヲ輸送スルコトヲ許可セララルヘシ

第八條

「ザラ」領域及第二條所定ノ「セルブ・クロアイト・スロヴェーヌ」王國ノ國境地帶間ノ獸類ノ輸送ハ原則トシテ一切ノ衛生検査ヲ免除セラレヘシ

尤モ前記ノ領域又ハ前記ノ地帶ニ驚口蒼其ノ他ノ甚シク傳染性アル疾病發生ノ報告アルトキハ傳染病地域ヨリ來ル傳染性アル種類ノ動物ニハ證明書ニ掲クル動物カ問題ノ疾病ナキ地方ヨリ來ルモノナル旨ノ權限アル地方官憲ノ附與スル證明書ヲ國境通過ノ許可ヲ得ル爲、給與スルコトヲ要ス

「ザラ」領域又ハ上記國境地帶内ニ於テ牛疫發生ノ報告アリタル一切ノ場合ニ於テハ前記領域及前記地帶間ノ家畜ノ一切ノ移動並獸製品、獸體廢物及麥藁、飼料等ノ一切輸送ハ之ヲ禁止スヘシ

國境許可證

第九條

「ザラ」領域及第二條所定ノ「セルブ・クロアイト・スロヴェーヌ」王國國境地帶住民ハ左記ノ各條ニ規定スル條件ニ從ヒ官憲ノ下附スル「國境許可證」ヲ供給セラルルコトヲ條件トシテ旅券ニ關スル規則ニ從フコトヲ自由ニ國境ヲ超エ、且前記領域及前記地帶ニ旅行スルコトヲ得ヘシ
尙右ノ者ハ馬上、馬車其ノ他ノ車輛ニ依ル國境通過ニ關スル規則ニ從フコトヲ條件トシテ右ノ交通手段ニ依リ國境ヲ超エテ進行スルコトヲ得ヘシ
國境許可證ヲ所持スル成年者ニ隨伴スル十二歲未滿ノ兒童ハ検査ノ爲國境許可證ヲ提示スルノ義務ヲ免除セラルヘシ

第十條

前條ノ規定ノ爲左記ノ者ハ之ヲ該領域又ハ前記地帶ノ住民ト看做ス
(イ)「ザラ」領域又ハ前記地帶ニ定住スル凡テノ者及前記ノ領域又ハ地帶外ニ居住スルモ前記地域ニ於テ土地ヲ所有シ若ハ借地シ又ハ營業

ヲ營ム凡テノ者
(ロ) (イ)項所定ノ所有者又ハ借地人ニ依リ「ザラ」領域又ハ前記地帯ニ於ケル其ノ作業又ハ産業ニ關連シ恒久的ニ雇傭セララル被傭者
(ハ)前記ノ領域又ハ地帯内ニ於テ營利事業ヲ營ム法人ノ代表者及被傭者但シ右ノ代表者又ハ被傭者常ニ其ノ營業ノ行ハルル場所ニ於テ業務ヲ行フモノトス

第十一條

第九條所定ノ國境許可證ハ關係國ノ地方警察官憲之ヲ下附スヘク其ノ様式ハ本條約附屬書(附屬書丁號)ニ之ヲ掲クルモノトス
國境許可證ハ他ノ一方ノ國ノ領事官憲又ハ該證下付ノ權限アル國ノ領事官憲ノ執レカノ査證アルトキニ限り有效ナルモノトス
國境許可證ノ有效期間ハ一年トス但シ該證カ之ヨリ短期間經營セララル事業ノ被傭者ニ下附セララルトキハ其ノ有效期間ハ該事業經營ノ期間トス尤モ右期間滿了ノ際該許可證ノ有效期間ヲ合計一年タラシムル

様之ヲ延長スルコトヲ得
國境許可證ニハ旅券ニ關シ實施セララルル規則ニ從ヒ人相書ヲ掲クヘキモノトス

第十二條

極度ノ緊急ノ場合(死亡、急病、葬儀及之ニ類似スル事件)ニ於テハ國境監視ノ職務ヲ有スル官吏ハ國境許可證ヲ所持セサル者ニ「ザラ」領域及「セルブ・クロアイト・スロヴェーナ」王國ノ國境地帯相互間ノ一回ノ越境ニ有效ナル通行券(Carto de Passage)ヲ下附スヘク、其ノ様式ハ本條約附屬書(附屬書戊號)ニ之ヲ掲クルモノトス
右通行券ハ他ノ一方ノ國ヘノ入國ノ際該國ノ國境管理事務所ノ査證ヲ受クヘク且三日間有效トス

第十三條

前記諸條ニ掲クル國境許可證及通行券ハ之ニ對スル査證ト共ニ印紙稅其ノ他ノ手数料ヲ課セラレサルヘシ

第十四條

現行規則ニ定ムル例外ヲ條件トシテ國境許可證及通行券ノ呈示ヲ要スル國境通過ハ各自國ノ警察官憲及稅關官憲間ノ協定ニ依リ指定セララル國境地點ニ於テノミ之ヲ爲スコトヲ得
右ノ地點ハ國境許可證及通行券ニ之ヲ指示スヘシ

第十五條

緊急ノ場合（就中重大事件ノ際ハ）ニ於テハ「ザラ」領域ニ居住スル醫師、助産婦及獸醫ハ「セルブ・クロアイト・スロヴェーヌ」王國ノ國境地帶間ニ於テ其ノ業務ヲ行フコトヲ得同様ナル事情ニアルトキハ前記地帶内ニ居住スル醫師、助産婦及獸醫ハ「ザラ」領域内ニ於テ其ノ業務ヲ行フコトヲ得
權限アル官憲ノ必要ナル同意ハ欄外書入ヲ以テ之ヲ爲スヘク右書入ハ各國境許可證下附ノ際之ニ記入スルモノトス
前記ノ場合ニ於テハ醫師、助産婦及獸醫又ハ日夜ヲ問ハス徒歩、馬上

道路ノ維持

第十六條

馬車其ノ他車輛ヲ以テ補助道路ニ依リ國境ヲ通過スルコトヲ許可セララルヘシ但シ右ノ者ハ必要ナル稅關許可證ヲ所持スルモノトス尙右ノ者ハ各場合其ノ援助ヲ求ムル者ノ必要ニ相當スル分量ニ限り其ノ業務ノ遂行ニ必要ナル物（器具、繃帶、醫藥）ヲ關稅免除ニテ携帯スルコトヲ得

兩締約國ハ法律上責任アル官憲及行政廳ヲシテ「ザラ」領域及「セルブ・クロアイト・スロヴェーヌ」王國間ノ國境ニ依リ分割セララル公道ヲ交通上ノ要求ニ從ヒ維持シ且除雪セシムル爲必要ナル措置ヲ執ルヘシ
國境ヲ出入スル道路又ハ相當ノ距離國境ニ沿ヒ若ハ跨ル道路ニ關シテハ締約國ハ前項ノ規定ニ依リ維持セララルヘキ道路及之ヲ實施スル方法ヲ決定スル爲協定スヘシ

滿洲帝國政府

右諸道路ノ舗装ニ必要ナル材料カ從來他ノ一方ノ領域内ニ現存スル採石場ヨリ取得セラレタルトキハ砂利ノ供給及運送ハ各國ノ權限アル行政廳間ノ相互協定ニ依リ定メラルル方法ヲ以テ之ヲ簡易ナラシムヘシ

給水 第十七條

「セルブ・クロアイト・スロヴェーヌ」王國政府ハ該王國領所在ノ「ボツカグナツゾ」湖及其ノ隣接地帯ニ於テ「ザラ」市街給水ノ量及質ニ何等カノ方法ニ於テ影響ヲ與フルコトアルヘキ又ハ右水ノ取得ヲ一層困難ナラシムルコトアルヘキ作業又ハ事業ヲ行ハス若ハ行ハシメス又ハ之ヲ行フコトヲ許可セサルコトヲ約ス

第十八條

「セルブ・クロアイト・スロヴェーヌ」王國政府ハ原因ノ如何ヲ問ハス給水不足ナリト認メラルルトキハ「ザラ」市街ニ所要ノ水量ヲ確保スルニ至ルヘキ作業及事業ヲ「セルブ・クロアイト・スロヴェーヌ」

滿洲帝國政府

王國所屬ノ該湖及其ノ隣接地帯内ニ於テ行ヒ且行ハシムルノ便宜ヲ伊太利王國政府ニ許容スヘシ

第十九條

「セルブ・クロアイト・スロヴェーヌ」王國政府ハ「ムルヴィツツア」ノ舊水道ニ給水スル湧水及水流ニ何等カノ影響ヲ與フルコトアルヘキ作業又ハ事業ヲ企テス又ハ企テシメサルコトヲ約ス「セルブ・クロアイト・スロヴェーヌ」王國政府ハ又「ムルヴィツツア」流域ノ水力ヲ地方ノ要求ニ影響ヲ與ヘスシテ保存スル爲右隣接地帯ニ於テ必要ナリト爾後認メラルヘキ一切ノ作業ヲ行ヒ且此ノ種事業ニ從事スル技術家及勞働者ヲシテ自由ニ出入セシムルノ充分ナル自由ヲ伊太利王國政府ニ保護スルコトヲ約ス

前記地域ニ於テ土地所有者ニ補償ヲ支拂フヘキトキハ該補償ハ伊太利王國政府之ヲ負擔スヘシ

第二十條

滿洲帝國政府

鮮魚及鹽魚	貝及軟體動物	野獸肉	草皮並野菜及貯藏野菜	馬鈴薯	生果實及貯藏セラレタル果實	穀物	羊毛	薪木	帶及普通ノブラツシ

G-22

滿洲帝國政府

附屬書 乙號 地帶境界線説明書

「ザラ」運河堤防上ノ「ザラ」領域北部國境ノ起點ヨリ境界線ハ舊「ザラ」地方ヲ圍繞スル凡テノ海岸線ヲ廻リ「ノヴグラヂ」海ニ至ル、「ノヴグラヂ」海岸ヲ廻リ「ボツシダリア」區ト「ノヴグラヂ」トノ分界線ニ至ル、同分界線ヲ廻リ其ノ「イスラム・グレコ」區ニ再會スル地點ニ至ル、「ノヴグラヂ」、「イスラム・グレコ」及「スミルシヒ」諸區ノ分界線ヲ廻リ「ベンコバス」裁判管區ノ領域ニ至ル、該區及「ザラ」裁判管區分界線ニ沿ヒテ下リ「ザラ」裁判管區及「ザラヴエツチア」裁判管區間ノ分界線ニ至ル、右ノ線ヲ廻リ「ザラ」運河ノ堤防ニ至ル、該運河ヲ超エタル後「メソ」運河ニ入りテ「エソ」島ノ南端ニ觸ル、該島西岸ヲ廻リ、該島極北地點ヨリ「斯クノ如クシテ該島ハ本地帯内ニ包含セラル」ウグリアノ」島北端ニ再會シ、該處ヨリ再ヒ「ザラ」運河ヲ超エテ「ザラ」領域最北海岸ノ起點ニ再會ス

滿洲帝國政府

附屬書 丙 號

第二條ニ於テ其ノ境界ヲ定ムル「セルブ・クロアト・スロヴェニア」王國ノ領域内ノ消費ヲ目的トスル限リ左記ノ年額ニ達スル迄輸入ヲ許可セラルヘク、且總テノ租稅又ハ其ノ他ノ輸入稅ヲ免除セラレ及如何ナル種類ノ禁止又ハ制限ニモ服セサルヘキ「ザラ」領域ノ生産物表

	年額
一、橄欖油	一〇〇〇「ヘクトリツトル」
二、通常ノ食卓用葡萄酒	一〇〇〇、
三、醋	三〇、
四、通常ノ石鹼	三〇〇「ハンドレット」
五、蠟	一五〇、
六、網及生大麻	三〇〇
七、網	二〇〇
八、羊毛(天然ノモノ及精洗シタモノ)	一〇〇〇

用 0101 B列5

(1. 6. 9,000冊 近譯納)

滿洲帝國政府

丸木製品(箱、寢臺、腰掛、樽) 三〇〇

一〇、獸皮、生ノ儘ノモノ又ハ乾燥シタルモノ 一五〇「ハンドレット」

一一、麥稈 帽子 一五

一二、斧、鶴、犁頭其ノ他ノ農具 一〇〇

一三、鐵板製家具 一〇〇

一四、硝子及硝子瓶 三〇

一五、穀物 一、〇〇〇

一六、鮮魚及鹽魚 二〇〇

一七、練粉 五〇〇

一八、除蟲粉 五

「註」越境者其ノ手ニ携帶シ且自己日常ノ用ニ供スルモノナルトキ

ハ九一〇、一三、及一三ニ掲クル品目ノ場合ハ五疋、其ノ他ノ品

目ノ場合ハ二疋ヲ夫々超エサル少量ハ前記定量ヲ超エテ輸入

スルコトヲ得ヘク從テ右ハ前記定量中ニ包含セラレサルヘシ

用 0101 B列5

(1. 6. 9,000冊 近譯納)

滿洲帝國政府

本許可票ハ「」迄效力ヲ有ス
 本許可票ノ濫用ハ其ノ效力ヲ消滅セシム
 日附

査證 許可票下附官廳

滿洲帝國政府

附屬書 戊號
 通行券

「」ニ居住スル
 「」氏ニ下附ス
 「」領域ニ至ル片道旅行ノ爲
 「」道ニ依リ旅行
 「」迄有效トス
 日附 日

査證

國境管理官憲

注意「通行券ハ緊急ノ場合（死亡、急病、葬儀等）ニ於テ國境管理官憲之ヲ下附スルコトヲ得右通行券ハ他ノ一方ノ國ノ管理官憲ニ依リ國境ニ於テ査證セラルヘク且其ノ有効期間ハ三日ヲ超エサルモノトス
 右通行券ハ「ザラ」領域又ハ「セルブ・クロアイト・スロヴエーヌ」王國隣接地帯以外ノ旅行權ヲ得ル爲之ヲ使用スルコトヲ得ス

五、密輸防止及其ノ他ノ事項ニ關スル亞米利加合衆國及墨西哥間ノ條約

千九百二十五年十二月二十三日華盛頓ニ於テ署名

密輸防止及其ノ他ノ事項ニ關スル亞米利加合衆國及墨西哥間ノ條約
千九百二十五年十二月二十三日華盛頓ニ於テ署名

亞米利加合衆國政府及墨西哥合衆國政府ハ一方ノ國ノ法令ニ依リ輸入ヲ禁止セラレタル商品、麻醉藥其ノ他ノ貨物ノ各自國領域ヘノ密貿易及外國人ノ密入國ヲ防止スル爲竝人體ノ健康ヲ増進シ、動植物ヲ保護シ且兩國ノ沿海ノ海產生物資源ヲ保存繁殖セシムル爲協力スルコトヲ希望シ、右ノ目的ヲ以テ協約ヲ締結スルコトニ決シ之カ爲左ノ如ク各全權委員ヲ任命セリ

亞米利加合衆國大統領

亞米利加合衆國國務長官「フランク・ビーケロツグ」

墨西哥合衆國大統領

亞米利加合衆國駐劄特命全權大使「ドン・マニエル・シー・テレス」

因テ各全權委員ハ互ニ其ノ委任狀ヲ示シ之カ良好妥當ナルヲ認メタル後左ノ諸條ヲ協定セリ

滿洲帝國政府

第一章 密貿易

兩締約國ハ合衆國及墨西哥國間ノ國際境界線ヲ通過スル兩國ノ一方ニ於テ產出シ又ハ之ヨリ發送セララルル商品ノ一切ノ輸送カ荷送人ノ輸出申告書ニ記載セララルヘク且原産國ノ適當ナル官吏ノ證明スル其ノ寫ノ一部カ仕向國ノ稅關官吏ニ供與セララルヘキコトヲ約ス尙一方ノ國ノ適當ナル官吏カ國際境界線ヲ通過スル積荷ノ運送又ハ商品ノ輸送ニ關シ他ノ一方ノ國ノ適當ナル官吏ノ要求スル情報ヲ與フヘキコトヲ約ス

第二條

兩締約國ハ海路、空路又ハ陸路ニヨリ一方ノ國ノ港市ヨリ他ノ一方ノ國ノ港市ニ至ル商品ノ輸入カ仕向國ニ於テ其ノ理由ノ如何ヲ問ハス移入ノ禁止セラレ又ハ制限セララルル品目ヲ含ムトキハ之カ發送許可ヲ拒絕スヘキコトヲ約ス但シ兩國ノ法令ノ條件ニ完全ニ合致スルトキハ制限セララルル商品ノ輸送ニ付右ノ發送許可ヲ拒絕セサルモノトス

用 0101 B列5

(1. 6. 9,000册 近譯約)

滿洲帝國政府

第三條

尙又其ノ何レカノ港市又ハ場所ニ仕向ケラルル商品ハ其ノ一部分カ其ノ表面上ノ仕向地ノ何地タルヲ問ハス他ノ一方ノ國ノ領域内ニ違法ニ輸入セララルルコトヲ目的トセリト信スヘキ相當ノ理由アルトキハ各ノ國ノ法令ニ從ヒ凡ユル可能ナル手段ヲ以テ右商品ヲ積載スル船舶又ハ其ノ他ノ車輛ノ出發ヲ防止スルコトハ兩締約國ノ義務ト認メララルヘシ

第四條

兩締約國ハ一切ノ種類ノ商品又ハ財産ヲ發送スルコトヲ適法ニ許可セララルル港市又ハ場所ヲ經由スルモノ及國際境界線ノ反對側ニ於ケル適法ニ許可セララルル港市又ハ場所ニ到リ又ハ之ヲ經由スルモノヲ除キ右

用 0101 B列5

(1. 6. 9,000册 近譯約)

滿洲帝國政府

商品ヲ一方ノ國ヨリ右境界線ヲ通過シテ發送シ又ハ搬出スルコトヲ許
可セララルヘキコトヲ約ス但シ特殊ノ事情アリ且之カ爲兩國ノ許可證發
行セラレタル後ニ於テハ一切ノ便宜ナル場所ニ於テ前記ノ境界線ヲ通
過シテ商品又ハ財産ヲ運搬スルコトヲ得

第五條

兩締約國ハ人、獸類、鳥類又ハ植物ノ傳染物ノ存在及蔓延範圍竝昆蟲
黒死病ノ慘害及其ノ防止ノ爲執ララル措置ニ關シ一切ノ調達シ得ヘキ
情報ヲ交換スヘキコトヲ約ス尙兩締約國ハ右ノ疾病及昆蟲黒死病ノ抑
制及撲滅ノ爲最有效ナル科學的手段及行政的手段ノ研究及行使ニ關ス
ル情報ヲ交換スヘシ

第二章 人ノ移動

第六條

各締約國ハ締約國ノ設置ニ係ル入國又ハ出國ノ正規ノ港市若ハ場所ニ
於テスルモノ又ハ右港市若ハ場所ヲ經由スルモノヲ除クノ外他ノ一方

滿洲帝國政府

ノ國ノ領域ニ至ル者ノ出國ヲ防止スル爲一切ノ相當ナル手段ヲ行使ス
ルコトヲ約ス

第七條

一方ノ締約國ノ國民カ他ノ一方ノ領域ヨリ追放セラレ又ハ退去セシメ
ラルル一切ノ場合ニ於テハ、竝追放ニ處セラレタル一方ノ國ノ國民カ
追放ノ代リニ自發的ニ其ノ本國へ出發スルコトヲ許容セラルル場合ニ
於テハ右國民ノ本國ノ適當ナル領事館代表ハ適當ナル通知ヲ受クヘキ
モノトス

第八條

一方ノ締約國カ一方ノ領域内ノ勞働者ノ契約ニ關スル規則ヲ中止シ又
ハ廢止スヘキ一切ノ場合ニ於テハ又一方ノ締約國契約勞働ニ對シ特別
許可證ヲ付スル場合ニ於テハ右許可證ヲ附與シ又ハ其ノ規則ヲ中止シ
若ハ廢止スル國ハ他ノ一方ノ國ニ之ニ關スル適當ナル通知ヲ與フヘシ

第九條

兩締約國ハ他ノ一方ノ國ニ向フ者及國境ノ兩側ニ在ル者ノ活動ニ關スル情報ヲ、右ノ者カ不法移民活動ニ從事シ又ハ他ノ一方ノ國ノ政府若ハ其ノ制度ニ對スル反逆ニ從事スルト信スヘキ相當ノ理由アルトキハ公益ニ反セサル限り交換スヘキコトヲ相互ニ約ス

第三章 漁撈

前文

左記ノ三目的ヲ以テ即チ

- (一) 各國ノ一定ノ沿岸沖ノ海洋中ノ海產生物資源ノ保存及繁殖ニ關スル當該官廳ノ勞力ヲ輕減スル爲
- (二) 海產物ノ凡ユル種類ノ密漁ヲ防止スル爲
- (三) 且魚類其ノ他ノ海產物ヨリノ收入ノ徵收ニ關スル勸告ヲ審議シ且之ヲ爲ス爲

亞米利加合衆國及墨西哥合衆國ハ次ノ如ク協定セリ

第十條

兩締約國ハ本條約ニ定ムル水域カ領水及領水ノ西方ヘノ延長タル領水外ノ水域ヲ含ム亞米利加合衆國「カリフォルニア」州及墨西哥合衆國低部「カリフォルニア」州ノ太平洋岸ノ水域タルヘキコトヲ約ス

第十一條

兩締約國ハ本條約ノ批准交換後二月以内ニ「國際漁撈委員會」合衆國及墨西哥國」ト稱セラルル委員會ヲ設置スヘキコトヲ約ス該委員會ハ四名ノ委員ヨリ成リ各締約國二名宛ヲ任命スヘシ該委員會ハ本條約ノ有效ナル期間存續スヘシ各締約國ハ自國ノ委員ノ俸給及費用ヲ支拂フヘク且該委員會ノ負擔スル協同費用ハ兩締約國均分折半シテ之ヲ支拂フヘシ

該委員會ハ組織シ、其ノ職員ヲ任命シ且本章ノ要求ヲ充タスノ權能ヲ有ス

該委員會ハ本章ノ目的ノ遂行ニ必要ナル凡ユル問題ノ完全ナル研究ヲ爲スヘク且該委員會ノ本章ノ目的達成ノ爲必要ナリト認ムル一切ノ事

項ニ關シ審議及同意ヲ求ムル爲各國政府ニ委員會ノ全會一致ヲ以テ同意シタル勸告ヲ提出スヘシ右ノ研究ハ委員會ノ任命後二月以內ニ之ヲ企ツヘク且右ノ勸告ハ實行シ得ル限り速ニ之ヲ提出スヘシ

第十二條

兩締約國ハ事情研究ノ後國際委員會カ前文ニ掲クル問題ニ關シ取締規則ノ採用ヲ勸告シ且該取締規則カ各國政府ニ依リ同意セララルトキハ右ノ取締規則カ兩國官憲ヲ拘束スルニ至ルヘク且兩國官憲ニ依リ實施セララルヘキコトヲ約ス

兩締約國ハ魚類又ハ海產物ノ第十條ニ掲クル水域ヨリ港ニ搬入セララルトキ竝各自國ノ港務官憲カ一方ノ締約國法令、採擇セララルヘキ取締規則又ハ本條約ノ規定ニ違反シテ船長ノ其ノ積荷ヲ得タリト信スヘキ相當ノ理由アルトキハ各自國ノ港務官憲カ前記魚類又ハ海產物ノ入港許可ヲ拒絕スヘキコトヲ約ス右ノ場合ニ於テハ罰金ヲ課スルコトヲ得ヘク又右ニ依リ違法ニ得ラレタル積荷ハ之カ沒收ヲ申渡シ且競賣ニ附

シ最高ノ競賣人ニ之ヲ賣渡スコトヲ得ヘシ右ヨリ生ヌル賣上金ハ均等切半シ締約國ニ屬スルモノト認メラルヘク且締約國ノ必要ナリト決定スヘキ範圍ニ於テ本條約第十一條所定ノ委員會ノ俸給及費用ノ支拂ニ之ヲ充當スヘシ

國際漁撈委員會ハ制定セララルコトアルヘキ凡テノ取締規則ニ關シ兩國ノ一切ノ港務官憲ニ其ノ都度報告スヘシ

第四章 一般規定

公益ニ合致スルトキハ合衆國及墨西哥國ノ各國政府ノ官吏及雇員ハ民事事件又ハ刑事事件ノ審問ニ必須ナリト認メララル記録及帳簿又ハ其ノ認證謄本ヲ供與スル様必要アルトキハ命セララルヘキモノトス民事事件又ハ刑事事件ノ記録、供述書、證明書及告訴狀ノ筆寫謄本ノ費用ハ之ヲ要求スル國之ヲ支拂フヘシ告訴狀及委任狀ハ成可ク迅速ニ之ヲ處理スヘク且公文書類ノ謄本ハ各自國ノ法令ノ規定ニ依リ適當ナル官吏迅速ニ之ニ認證ヲ與フヘキモノトス

千九百二十五年十二月二十三日華盛頓ニ於テ本書二通ヲ作ル

フランク・ビー・ケロツグ (印)
マニユエル・シー・テレズ (印)

本條ハ本條約所定ノ事項ヲ含ム事件ニ對シテノミ之ヲ適用スヘシ
第十四條

締約國ハ本條約ノ規定ヲ有效ナラシムル爲必要ナル法制ヲ制定シ且實
施スルコトヲ約ス該法制ハ之カ違反ニ對スル適當ナル罰則ヲ有スヘキ
モノトス

第十五條

本條約ハ批准セララルヘク且批准書ハ成ルヘク速ニ華盛頓ニ於テ交換セ
ラルヘシ

本條約ハ締約國ノ法令ニ依ル公表ノ日ヨリ十日ノ期間ノ滿了後其ノ效
力ヲ發生スヘク且一年間效力ヲ保有スヘシ。本條約實施セラレタル後
一年ノ期間滿了ノ際一方ノ締約國カ本條約ヲ消滅セシムルノ希望ノ通
告セラレサルトキハ本條約ハ一方ノ締約國カ本條約ヲ消滅セシムルノ
希望ヲ他ノ一方ニ通告シタル後三十日ニ至ル迄引續キ效力ヲ有スヘシ
右證據トシテ各全權委員ハ英吉利語及西班牙語ノ本條約ニ署名調印セ
リ

六、「フューメ」港經由洪牙利國運送ニ關スル條約（拔萃）

千九百二十七年七月二十五日羅馬ニ於テ署名

「フューメ」港ニ於ケル洪牙利國稅關部（Expositure）

設置ニ關スル伊太利國及洪牙利國間ノ議定書

千九百二十七年七月二十五日羅馬ニ於テ署名

「フューメ」港經由洪牙利國運送發達ニ關スル條約拔萃

千九百二十七年七月二十五日羅馬ニ於テ署名

第十四條

權限アル機關（倉庫總局又ハ伊太利國鐵道管理局）ハ「フューメ」ニ於ケル倉庫ノ利用セラレ得ル限リ洪牙利國原産ノ穀物及野菜ノ選別ノ爲ニ必要ナル場所ヲ洪牙利國輸出業者ノ使用ニ供スヘシ
右倉庫ヲ獨立シテ又ハ稅關構内ニ設ケ得ルトキハ自由寄託ノ制度ヲ之ニ適用スヘク且右寄託ハ伊太利國ニ於ケル當該事項規律ノ法規ニ從フヘシ

以上ト異ルトキハ右ノ事務ハ稅關監視ノ下ニ之ヲ執スルコトヲ得
鐵道ニ依リ前記ノ倉庫ヨリ積出場所ニ運搬セララルル貨物ハ一車ニ付二十「リラ」ノ關稅ヲ支拂フヘシ

本條第一項所定ノ倉庫内ニ於ケル場所ノ利用及使用ニ關スル條件ハ必要アルトキハ「フューメ」ニ於ケル洪牙利國領事館ト協定ノ上權限ア

ル機關之ヲ定ムヘシ

第十六條

兩締約國ハ本條約附屬ノ特別議定書所定ノ條件ニ從ヒ且該議定書所定ノ方法ヲ以テ「フユーム」ニ於テ洪牙利國稅關部「出張所」(Expositure)ヲ設置スルノ望マシキコトヲ認ム

洪牙利國政府ハ稅關「出張所」(Expositure)ノ現實ノ設置ヲ其ノ一箇月前ニ伊太利國政府ニ豫告スルコトヲ約ス

第十七條

「フユーム」港ヲ發着港トスル洪牙利國定期航路開設セラレ之ニ關聯シテ船積出用意ノ爲倉庫中ニ貨物ヲ集ムルノ必要アルトキハ「フユーム」倉庫總局ハ自國定期航路ニ與フルト同様ノ條件ヲ以テ埠頭倉庫ノ使用ヲ許容スヘク且港務官憲ハ右定期業務ニ從事スル船舶ニ對シ右埠頭繫留ノ優先權ヲ與フヘシ
右定期業務ニ從事スル洪牙利國船舶ヨリ荷卸セラルル貨物ハ少量ナリトモ之ヲ右ノ倉庫ニ寄託スルコトヲ得

「フユーム」港ニ於ケル洪牙利國稅關部 (Expositure) 設置ニ關スル伊太利國及洪牙利國間ノ議定書
千九百二十七年七月二十五日羅馬ニ於テ署名

第一條

「フユーム」港經由ノ洪牙利國ノ運送發展ニ關スル條約第十六條所定ノ洪牙利稅關部 (出張所) (Expositure) ハ其ノ官吏及事務員ニ依リ洪牙利國ニ至リ又ハ洪牙利國ヨリ輸出ノ爲來ル貨物ノ解放ヲ含ム凡テノ關稅事務ヲ執行スルコトヲ得

前記ノ事務所ハ該條約第十四條及第十七條所定ノ倉庫又ハ貨物カ洪牙利國ニ至リ又ハ洪牙利國ヨリ來ルヘキ「フユーム」港ノ其ノ他ノ場所又ハ地域ニ於テ右ノ事務ヲ執行スヘシ
右ノ目的ノ爲伊太利國稅關管理部及洪牙利國稅關出張所間ニ協定ヲ締結スヘシ
洪牙利國稅關出張所ハ洪牙利國ニ至ル貨物ヲ積載スル車輛ニ又ハ必要

アルトキハ前記倉庫ノ特定ノ部分ニ稅關封印ヲ爲スノ權利ヲ有スヘシ
 尤モ洪牙利國稅關出張所ハ右倉庫ノ内部其ノ他ノ場所ニ於ケル伊太利
 國稅關ノ職務執行及検査セラレタル又ハ検査セラレヘキ貨物ノ監視ニ
 關スル其ノ行動ノ自由ヲ該稅關ヨリ奪フコトアルヘキ措置又ハ行動ヲ
 執ルコトヲ得ス

伊太利國稅關ハ洪牙利國稅關出張所ノ職務執行ヲ妨クルコトナキ様努
 力スヘシ

洪牙利國稅關出張所ハ洪牙利語及伊太利語ノ記名アル自國ノ紋章及國
 旗ヲ使用スル權利ヲ有スヘシ

第二條

洪牙利國ニ至ル貨物ニ關シテハ伊太利稅關及洪牙利稅關出張所ハ同時
 ニ稅關事務ヲ執行スヘシ尤モ右ノ手續カ不可能ナルトキハ伊太利國稅
 關ハ洪牙利國出張所ノ後ニ其ノ事務ヲ執行スヘシ但シ洪牙利國出張所
 ハ伊太利稅關カ其ノ事務ヲ完了スルニ至ル迄既ニ検査セラレタル貨物

ヲ監視スルノ權利ヲ留保スルモノトス

洪牙利國ヨリ來リ且「フューメ」ノ「自由區域」(Punto Franco)ニ

至ル貨物ノ場合ニ於ケル稅關事務ハ伊太利稅關カ當該貨車ヲ解放シタ
 ル後洪牙利國稅關出張所之ヲ執行スヘシ、但シ伊太利國稅關右貨車積
 載ノ貨物ヲ檢認スルヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラス右檢認ハ荷卸中ニ
 於テ且洪牙利國稅關出張所官吏ノ立會ノ下ニ之ヲ爲スコトヲ得

洪牙利國ヨリ來リ且「自由區域」以外ノ條約第十四條所定ノ倉庫ニ至
 ル貨物ノ場合ニ於ケル稅關事務ハ伊太利及洪牙利兩國稅關官吏同時ニ
 之ヲ執行スヘシ右不可能ナルトキハ伊太利國稅關當該貨物ヲ解放シタ
 ル後洪牙利國稅關出張所其ノ事務ヲ執行スヘシ

一方ノ國ノ稅關ニ限り爲サレタル稅關封印ハ右封印ヲ爲シタル稅關ノ
 官吏一名ノ立會アル場合ヲ除キ原則トシテ他ノ一方ノ國ノ稅關官吏之
 ヲ除去スルコトヲ得サルコトヲ約ス

第三條

滿洲帝國政府

伊太利國境稅關ハ洪牙利國稅關書類ヲ伴フ輸入貨物カ成ルヘク迅速ニ進行スルコトヲ確保スル爲努力スヘク又特殊ノ稅關規則ニ從ヒ通過狀ニ據クル貨物ト同一物ナリヤ否ヤヲ確ムル爲貨車ヲ開キ且貨物ヲ檢査スル必要アル場合ヲ除クノ外洪牙利國官廳ノ該貨車ニ爲シタル封印其ノ他ノ封緘物ニ觸ルルコトヲ得ス

伊太利國稅關又ハ洪牙利國稅關ニ依リ封印其ノ他方法ヲ以テ閉鎖セラレタル貨車ヲ不可抗力ニ基ク毀損、損害其ノ他ノ事由ニ依リ伊太利國領域通過中ニ於テ開キ又ハ荷卸スルコトヲ要スルトキハ右ノ處置ニシテ伊太利國稅關保護ノ爲伊太利國規則ニ從ヒ行ハルル場合ハ洪牙利國稅關管理部亦之ヲ有效ト認ムヘシ

第四條

伊太利國稅關ハ「フユーム」ノ「自由區域」及條約第十四條所定ノ倉庫間ヲ通過スル貨物ニ對シテハ徵收上ノ監視ノ必要ト合致スル最簡便ナル手續ヲ採用スヘシ

用 0101 B列5

(1. 6. 9,000册 近譯納)

滿洲帝國政府

洪牙利國稅關出張所ノ事務ニ必要ナル家具、文房具、帳簿其ノ他ノ一切ノ材料ハ一切ノ輸入稅ヲ免除シテ之ヲ伊太利國ニ輸入スルコトヲ得ヘシ

第五條

伊太利國稅關及洪牙利國稅關ハ關稅及國家專賣ニ關スル一方ノ締約國ノ法令ニ對スル違反ノ防止及發見竝他ノ一方ノ締約國ノ官憲ニ對スル右違反ノ通告ノ目的ヲ以テ協力スヘシ

兩國稅關ハ右ノ事項ニ付其ノ關スル一切ノ説明書及情報ヲ相互ニ供與スヘシ

第六條

第七條

洪牙利國稅關管理部ハ稅關出張所ニ派遣セララルヘキ官吏及事務員ノ氏名ヲ「フユーム」政廳ニ通告スヘシ右通告ハ右ノ官吏又ハ事務員カ其ノ職務ニ就ク八日前ニ之ヲ爲スヘシ

用 0101 B列5

(1. 6. 9,000册 近譯納)

滿洲帝國政府

前記ノ政廳カ相當ノ理由ニ依リ右派遣員ノ何人カヲ忌避スルトキハ洪牙利國管理部ハ右抗議ヲ考慮スルコトヲ要ス
洪牙利王國政府ハ伊太利王國政府ヲシテ正當ナル異議ヲ起サシムル行動アリタル官吏又ハ其ノ他事務員ヲ速ニ更迭スルコトヲ約ス

第八條

洪牙利國稅關出張所ノ官吏及事務員ハ洪牙利國ニ於テ現行ノ慣習及規則ニ從ヒ其ノ職務ヲ執行スルコトヲ得ヘク、又稅關出張所及條約第十四條及第十七條所定ノ倉庫ニ於テ制服ヲ着用シ、且其ノ規則ニ定ムル武器ヲ携帯スルコトヲ得ヘシ

第九條

關稅規則違反ノ場合ニ於テハ各國官吏ハ各自國ノ法令ヲ適用スルモノトス但シ違反者留置ノ權利ハ專ラ伊太利國官憲ニノミ屬スルモノトス
洪牙利國稅關ノ官吏及事務員ハ洪牙利國裁判所ニ違反者ヲ告發スルノ權利ヲ有スヘク、該裁判所ハ洪牙利國法令ニ從ヒ之ヲ審理スルノ權限

滿洲帝國政府

ヲ有スヘシ

右稅關ノ官吏及事務員ハ違反ニ關シ和解ヲ爲スコトヲ得ヘク、違反明白ナルトキハ押收セル物品ヲ沒收スルコトヲ得ヘク、且必要アルトキハ確定的ナル行政處分又ハ司法判決ニ依リ沒收セラレタル貨物ヲ處分スルコトヲ得ヘシ

前記ノ官吏及事務員ハ又罰金支拂ヲ保障スル爲貨物及荷物ヲ抑留スルコトヲ得

第十條

紀律ニ關シテハ洪牙利國稅關ノ官吏及事務員ハ其ノ職務ニ關スル一切ノ事項ニ付專ラ洪牙利王國ノ相當官廳ニ從フヘシ尤モ右ノ官吏及事務員ハ伊太利王國ノ刑法及警察規則ニ從フヘキモノトス

右ノ者ハ伊太利王國ノ一切ノ租稅及身體ノ勞務ヲ免除セラルヘシ

右ノ者ハ又所得稅及一般ニ通常其ノ所得又ハ收入ニ對スル一切ノ租稅ヲ納付スルノ責ニ任セス尙右ノ者ハ兵役ニ服シ又ハ陪審官若ハ當該自

滿洲帝國政府

治區域ノ行政審議會議員トシテ服務スルコトヲ要求セラレサルヘシ
尤モ右ノ官吏及事務員ハ伊太利國領域内ニ在置スル不動産ニ對スル租
稅ヲ伊太利國民ト同様ニ納付スヘシ右ノ者ハ又關稅其ノ他ノ間接稅ヲ
納付スヘシ

第十一條

洪牙利國稅關管理部ハ「フユーム」ニ於ケル洪牙利國稅關出張所ノ執
務振ヲ檢査シ且監督スル爲上級官吏ヲ派遣スルコトヲ得

第十二條

伊太利國官憲ハ伊太利國政府官吏ニ與フルト同様ナル保護及援助ヲ「フ
ユーム」ニ於テ勤務スル洪牙利國ノ官吏及事務員ニ與フヘシ
右ノ官吏及事務員並「フユーム」ニ永住スル其ノ家族ハ伊太利國カ伊
太利臣民ニ與フルト同様ナル保護ヲ該國ヨリ受クヘシ右ノ官吏及事務
員並其ノ家族ハ「フユーム」ニ住居ヲ定ムルニ際シ且其ノ移轉ニ際シ
其ノ家具及身廻品ニ對スル關稅ノ支拂ヲ免除セララルヘシ

滿洲帝國政府

第十三條

伊太利國ニ入國スル洪牙利國稅關出張所ノ官吏及事務員ハ伊太利官憲
ニ依リ旅券手續ヲ採ルコトヲ要求セラレサルヘシ出張所ニ於テ臨時ノ
職務ヲ執行スル高級官吏モ亦右ノ手續ヲ免除セララルヘシ

右目的ノ爲右ノ官吏ハ職務證書及寫眞附身分證明票ニ依リ伊太利官憲ノ
満足ヲ得ル迄其ノ身分ヲ證明スルコトノミヲ要求セララルヘシ
職務證書及身分證明票ノ様式ハ兩國ノ當該管理部間ノ協定ニ依リ之ヲ決
定スヘシ

前記官吏ノ家族モ亦權限アル洪牙利官憲ノ查證アル身分證明書ヲ提示
シテ旅券手續ヲ免除セララルヘシ

第十四條

必要アルトキハ本議定書所定ノ規則ノ實施ニ關スル基準ハ關係管理部
間ノ協定ニ依リ即時ニ任命セララルル特別委員會之ヲ決定スルコトヲ得
千九百二十七年七月二十五日羅馬ニ於テ本書二通ヲ作ル

滿洲帝國政府

伊太利國
ベニト・ムツソリニ
洪牙利國
フレデリック・ウイムメルスベルヒ